

令和4年度フードバンク活動促進のための情報交換会

「もったいない」を 「分かち合い」～ 「ありがとう」へ



フードバンクかながわ 報告資料

2023年2月21日

公益社団法人フードバンクかながわ
事務局長 藤田 誠



ホームページ

<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわ設立経緯

- 2015年 9月 マイクロクレジット・フードバンク研究会
- 2016年11月 フードバンク検討会
- 2017年 4月 フードバンク設立準備会
- 2018年 2月 一般社団法人フードバンクかながわ設立
- 2018年 4月 事業運営開始
- 2018年10月 公益社団法人となる(フードバンクとしては全国初)

【正会員】12団体

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県農業協同組合中央会
神奈川県労働者福祉協議会
公益財団法人かながわ生き生き市民基金
公益財団法人横浜YMCA

生活協同組合パルシステム神奈川
生活協同組合ユーコープ
生活クラブ生活協同組合
こくみん共済 COOP 神奈川
中央労金神奈川県本部
(特非)参加型システム研究所



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」～

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》

フードバンクかながわのしくみ

イメージ図





フードバンクかながわの現状

2023年1月31日現在

- ・賛助会員入会状況 初期値(2022.4.1) ⇒ 2022.1.31現在
 - (1) 団体会員 204団体 ⇒ 215団体 (681口:1口1万円)
 - (2) 個人会員 291名 ⇒ 307名 (1,733口:1口千円)
- ・寄付金 計画15,000,000円 ⇒ 16,082,026円
- ・合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 219社 ⇒ 260社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 58団体 ⇒ 61団体
 - (3) 食品受取団体 223団体 ⇒ 256団体
- ・フードドライブ回収拠点 299カ所 ⇒ 344カ所



パルラインハ王子センター

パルシステム平塚センター

ユーコープ座間物流センター(ドライ品)

パルシステム麻生センター

おうちCO-OP相模原センター

おうちCO-OP海老名センター

ユーコープ神奈川県内
77店舗【フードドライブ】
【破袋米】

おうちCO-OP横浜東部センター

おうちCO-OP横浜瀬谷センター
ユーコープシーサイド物流センター
(店舗:冷蔵・冷凍品)

フードバンクかながわ倉庫

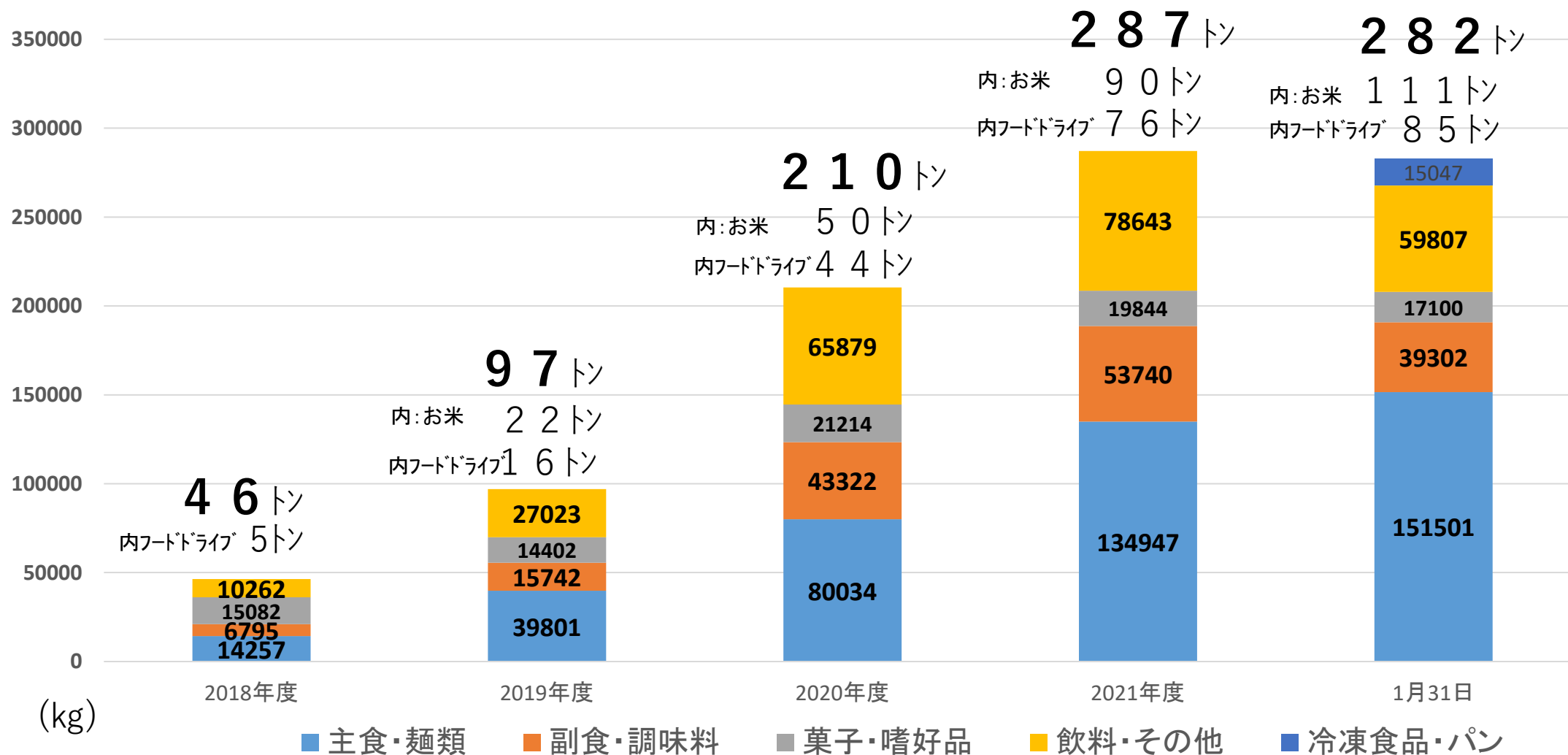
生活クラブあやせ総合センター
綾瀬市吉岡東3-7-9

おうちCO-OP藤沢センター

おうちCO-OP小田原センター

常温食品(ドライ)の物流体系図【中継拠点】

2018-2022年度食品寄贈重量(中分類別)



※その他＝ベビーフード、栄養補助食品、野菜、家庭用品など

22.4.1-23.1.31 **フードドライブ実績**

※点検・仕分終了

ユーコープ 78店舗	8411kg
パルシステム神奈川	12520kg
生活クラブ生協	554kg
その他生協(福祉クラブ・ナチュラルコプ・うらがCO-OP)	1354kg
労働関係	6885kg
JA関係	2106kg
神奈川県	1445kg
横浜市(栄区・港南役所)	928kg
横須賀市	341kg
綾瀬市社協	656kg
イトーヨーカドー26店舗	19090kg
そうてつローゼン17店舗	6875kg
イオン2店舗	473kg
無印良品30店舗	5668kg
FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA	144kg
中栄信用金庫	2447kg
小・中・高・大学生	781kg
その他の団体・企業	10017kg
個人(持込・直送341名分)	5300kg

合計: 84,568kg



三井住友信託銀行港南台支店



タニタフィッツミー保土ヶ谷店



イトーヨーカドーたまプラーザ店



パルシステム(カゴ車49台)



ユーコープ店舗(358箱)

2020年3月～コロナ禍でのフードバンク活動

販売期限・イベント中止等 による寄贈増

農水省仲介

コカ・コーラから飲料類、日本農産工業株から卵スープ



給食用の牛乳

休校により給食用牛乳が余剰となり、全農はロングライフ牛乳200m l（賞味期限約2か月）にして農水省経由で提供する。
5月半ばから取り組み予定。

機内提供品

飛行機の便数が減り、提供できない機内飲み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止

合同会社rakusouより特別仕様のラムネ（飲料）7500本を寄贈。



メリーチョコレート

フードバンクかながわは 寄贈と提供マッチング

(株)ツクイ創業50周年記念
DAY・マリノス・フロンターレ戦
で配布予定だったお菓子(森
永ハイチュー特別仕様)1万
個を寄贈。フードバンクかな
がわでは、今急増中の学生
支援、子ども支援に活用。



給食用お米 649kgの寄贈
開成町で2つの小学校で使
う予定の給食用米が余剰
となり、寄贈



鎌倉紅谷 追加寄贈 8t強
3850万円分の銘菓を寄贈。
コロナ重症患者を24時間受け
入れる横浜市立医大病院に
1t分を贈呈
エレベーターがきしみ、管理
課から電話が...



2021
日本農産工業(株)より100万
円の寄付金につづき、ヨード
卵光のたまごスープ、ふかひ
れスープ22000袋を寄贈い
ただきました。



2021
(株)伊藤園より、ホテル・旅館向
けのお茶ティーバックを寄贈頂き
ました。



2021
(株)セブン&アイ・フードシステムズ(デ
ニーズ)より、メニュー改変に
伴う余剰品を鳥浜駅前のデ
ニーズの集めて頂き、寄贈
を受けました。



神奈川県共同募金会の中島事務局長
と細川担当が企業からの寄付品を持参
いただきました。また、同会より100万
円の助成を受け、不足している副食を
購入しました。

◆↓訳ありカレールー(1箱14kg)



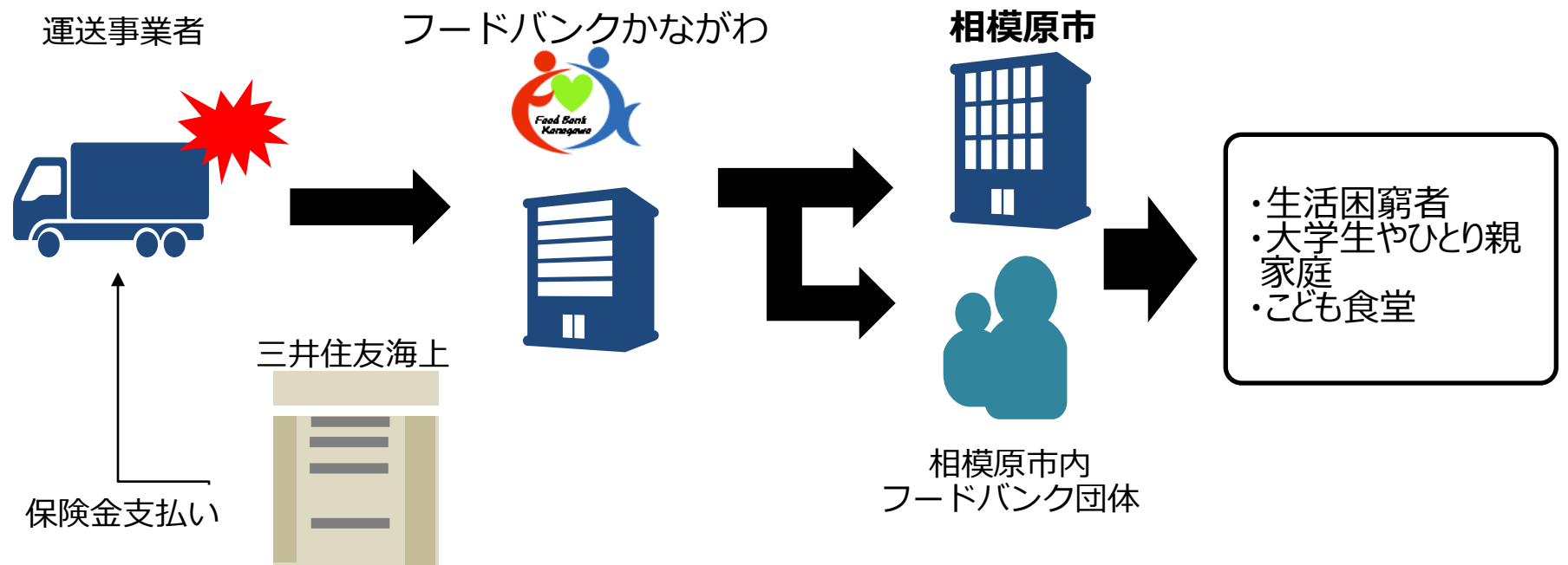
相模原市・三井住友海上火災と食品ロス等の削減に向けた協定締結の概要

三井住友海上火災保険株式会社が提供する運送保険「フードロス削減プラン」に加入した物流事業者が運送事故を発生させた際、損害品のうち条件を満たす食品等を公益社団法人フードバンクかながわに寄贈することで、食品ロス等の削減や、市内生活困窮者等の支援につなげるもの。



食品ロス等の削減に向けた
協定締結式2021.10.8

写真左から
・フードバンクかながわ
吉坂代表、當具代表
・相模原市 本村市長
・三井住友海上火災
山本神奈川支店長



新たな取り組み：冷凍食品

休眠預金活用助成により冷凍食品取り扱いを開始



休眠預金助成金で冷凍トラック
(2トン車)を購入



クラダシ経由で
マルハニチロ様
より鶏唐揚げ3トン



助成金にて購入した冷凍ストッカー
を地域のフードバンクに無償貸与



JAさがみ様より冷凍コンテナ寄贈

山崎製パン様より毎日100個のパンを寄付 6/1より開始



山崎製パン横浜第一工場より食パン・菓子パンなど約100個を毎日、届けて頂いています。

平塚市立真土小学校5年生



開成町立開成南小学校4年生



横浜市立並木第一小学校 4年生



大和市立下福田小学校5年生



相模原市立田名小学校5年生





相模原市立上鶴間中学校の学習会と米一合運動贈呈式



仙台市立沖野中学校 修学旅行





第一学院高校



森村学園高等部



神奈川県立舞岡高校



大分県立雄城台高校(修学旅行)



東海大学



高崎経済大学



横浜市立大学



神奈川大学法学部



ひろがるフードドライブ

回収拠点300カ所を超える



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁(2回目)



YSCC(サッカーJ3)



神奈川県弁護士会



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



JA神奈川県中央会



東京サラヤ(株)



(株)伊達建設



明治安田生命



横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会



韓国の労働組合よりマスク



社福いきいき福祉会



リュウカンパニーからは
手作りのクリスマスセット



Micronメモリージャパン



JA横浜たすけ愛チーム



たすけあいゆいへお渡し



無印良品港南台バース店



満福うえのまちこども食堂へお渡し



そうてつローゼン



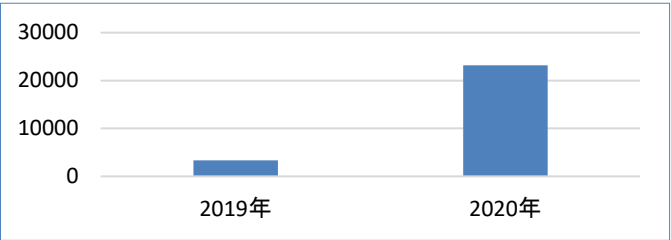
コロナ禍での市民の食品支援活動

(1) こども食堂・子ども支援団体

パート・アルバイトの職場が失われ、食品支援の必要な家庭が増加。子どもは休校で行き場所を失う、欠食という状況が想定されたが、公共施設の調理室が使えず、密を避ける、ボランティアの不安もあり、混乱した。子ども支援団体では休校による生活の乱れ、親子のストレス、虐待リスク、食事が十分とれているか。

コロナ禍でのこども食堂

フードバンクかながわからの
提供量4-7月の比較



フードバンクかながわ
に登録する子ども/地域食堂は86団
体。実利用は約55団体。食堂や弁当
提供で頑張っている食堂もあるが、公共
施設の閉鎖等で食堂からフードパント
リー(食品提供)に移行。4-7月は前年
の4倍量になった。
21年1月は活動を自粛する団体が多
く量も減少。

2020年	3月	4月	5月
食堂	1	1	2
食品提供	12	18	18
弁当	4	5	5
休止	5	3	7
他・不明	18	12	11
合計	40	39	39



よこすかながや
(横須賀市)



NPO法人ちゃっと
寄り添い型生活支援事業
(保土ヶ谷区)



キッズカフェ杉田
(金沢区)



にのみやこども食堂便 (二宮町)

(2) ひとり親家庭支援

横浜市(こども青少年局)＝ぱくサポ

(ひとり親世帯サポート事業食品提供会)

横浜市は横浜市母子寡婦福祉会に委託し、市内在住の一人親家庭(約3万世帯)を対象に2020年7月より食支援(ぱくサポ)を開始。

横浜市の18区を巡回し、毎週4～6カ所の地区センター等で食品を提供している(各回60世帯まで)

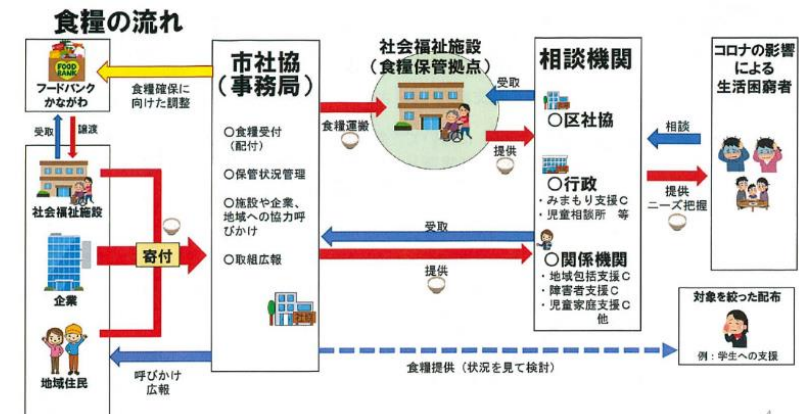
横浜市社協

「ヨコ寄付」200万円目標活用

新型コロナウイルス感染症対策の影響等により食べる事に困っているひとり親家庭の子どもを支える取り組み。子どものいるひとり親世帯で食の支援が必要な方へ、7日分程度の食品と支援機関パンフレット等を、宅配によりお届け。

川崎市社協(食糧支援かわさき)

支援機関がかかわっているコロナにより食支援を必要な人
関係機関から提供



ひとり親世帯の半数が苦しい



食品支援が必要な世帯

くろーばーマーケット(来店型フードバンク)
byさくらんぼ

地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者のみなさんも一緒に行っています。



(3) 外国籍の支援 団体

NPO法人ブラジルsolidário横浜は、ブラジルから日本に来ている労働者が雇い止めにあい、明日の食事にも事欠く人が多いことへの支援体制を急遽つくった。母国に帰るに帰られず、仕事も打ち切られている方が本当に多く、どこに助けを求めて良いのか困惑している。食事提供、食品提供。

(4) DV被害支援団体

DV支援センター/ラフリーチェ2019年

- ①DV・虐待で苦しむ女性と子ども達の相談支援・救済支援
- ②DV・虐待被害者および母子家庭等貧困世帯の子ども達への居場所支援・教育支援・食事提供支援

行政の食支援に行ったら「児童扶養手当の証明を見せてと言われた。事情を説明したら、別居中は夫から生活費をもらうべきと言われ支援してもらえなかった」というケースも聞いた。

支援が少なく、偏見が多い。相談・食事提供・食品提供。

生活保護を受けずに生活している人のほうが困窮している例もある。食品配布は月1回だが、それ以外にも困っている人には届けたりしている。

やっぱり食支援が一番欲しい という声 ⇒ 2020年7月から無料食品頒布会
月1回 先着20名



フードバンクかながわ倉庫まで引取りにみえた鈴木アウレリオさん
日本のブラジルといわれる群馬県大泉町まで運びます

女性のための支援

(食品配布会から生み出す支援)

NPO法人DV対策センター 穂志乃 愛莉

(5) 学生支援

入学はしたものの、友だちもなく実家にも帰れない、アルバイトもないという状況に置かれ、学校には入れず、授業はwebだが、web環境もが整わない学生がいた。学生は住民票を移してない場合が多く、支援対象外となる可能性が心配された（横須賀市福祉部）。

5月になり横須賀市、横浜市社会福祉協議会で支援が始まった。その後相模原市が継続支援し、現在では横浜市立大学が、社協やフードバンク、地域との連携により、支援を継続している。

学生が学生の支援する活動 かながわ学生ボランティア連合

配送費の助成金を取り、留学生などに食品を送る活動と、合せて社協の協力を得てフードドライブを実施し、フードバンクかながわにも寄贈。



横浜市立大学

横浜市社協



川崎市社協



横須賀市役所



相模原市役所

8月8日(日) 9時半～11時半
逗子文化プラザさざなみホール
かながわ学生ボランティア連合

フードバンク応援企画

食料をご寄付 くださいの会

ご自宅にある食料 ※長期保存ができるもの
お歳暮などの贈答品

ご自宅や会社の防災備蓄品 など
賞味期限内の食料のご寄付をお願いいたします。
当日会場にご持参ください。
全て2か所のフードバンクにもって行き、必要な方に配布されます。



「かながわ学生ボランティア連合」は、神奈川県在住の学生によるボランティアグループです。
現在11名の生活に困っている学生に月2回、3か月間食料を自宅に送るサポート活動を行っています。
その食料を毎週いただく「フードバンクかながわ」「神奈川県フードバンクプラス」で、食料が大量不足している状況を見ました。
普段、食料をいただいている2つの「フードバンク」にご恩返しをしたいと考え、食料ご寄付の企画を考えました。逗子地域で食料のご寄付を集めて、2つの「フードバンク」に食料を持ていきます。ご寄付いただいた食料は、私達のサポート活動や、様々な支援活動に分けられ、必要な方に有効に活用されます。

主催 かながわ学生ボランティア連合 問合せ kanagakuvoluren@gmail.com 080-5095-5763(後部)
～この活動は神奈川県社会福祉協議会令和3年度地域福祉活動支援事業助成金を受け実施しています～



学生ボランティア連合代表
関東学院大学の中野さん

地域ネットワーク型フードシェア フードドライブとパントリーの同時開催

かわさき生活クラブ・たかつデポと川崎医療生協

毎月第4土曜日 14:00～16:00 たかつデポー店前（高津区坂戸 1-1 1-2）でフードドライブ（個人寄贈）とフードパントリー（食品提供・配布）を同時開催

フードドライブ：毎月第4火曜に川崎医療生協メンバーが、たかつデポー集会室に荷受けしたフードパントリー品を搬入。たかつデポーのフードバンク活動チームと一緒に配布用に仕分け作業、保管。

フードドライブ：たかつデポー店内で常設フードドライブ回収ボックスの設置もスタート。W.Coデポットの協力を得て実施。集まったドライ部品はW.Coキャリーがあやせセンターへはこび、フードバンクかながわへ。

2021年4月

かわさき生活クラブたかつデポーでのフードドライブは、チラシによる呼びかけで30人から180個の持ち込みがあり、段ボール11個分が寄贈された。また、川崎医療生協との連携で食品支援（フードパントリー）も行った。5名来所し予約希望が10名あるなどの反響。



この活動に共感する組合員が増えた。かわさき生活クラブは理事（組合員）と全職員がフードバンクの学習研修に参加。「フードバンク活動を伝えて拡げます」と力強い。

地域のフードバンクに寄せられた ありがとうの声

あ り が と う の 声

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ています。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の際にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

学生からの**ありがとう**の声

●アルバイトの時間も短縮され、お金がなく厳しい状況の中でこのような支援はとてもありがたいと思った。地域の方々に支えられて、学生生活を送っていることを忘れないようにしたいと思いました。

●寄付を下さり、ありがとうございました。学生のひとり暮らしかつコロナの影響で、バイトが全然できていない状況でした。大切に食べさせて頂きます。

●今回初めて参加して、ひとり暮らしなので、たくさんの食べ物を頂きとても助かりました。
とてもうれしかったです。次は自分が社会に貢献できるように頑張りたいと思います。



1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

